

銅賞

製品名

だてな めがねケース



学校名

福島県立だて支援学校

学部・学年・作業班

高等部  
クリエイティブサービス班

### <製品について>

伊達市は以前よりニットが盛んであったので、毛糸を使った身近で使いやすい製品は何かと考え、眼鏡ケースを作成しました。

素材は鉢底ネットを材料とし、ネットの穴を数えながら毛糸をさし、模様を作っていきます。使ってくれる方をイメージしながら何度も毛糸の色を組み合わせで考えました。工夫した点は、出来栄えをきれいにするために裏面の刺し終わったところに終わりの糸を隠して処理をしたり、編み目の目を確認して模様を作り上げたりしました。また、ケースの中の裏地の布も外の模様に合わせて選び仕上げました。